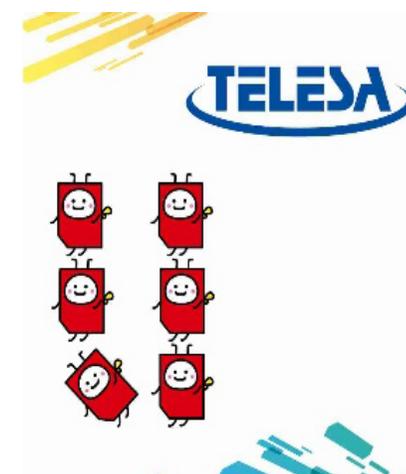


接続料の算定等に関する研究会（第90回） 事業者ヒアリング資料

2024年11月19日

一般社団法人テレコムサービス協会
MVNO委員会

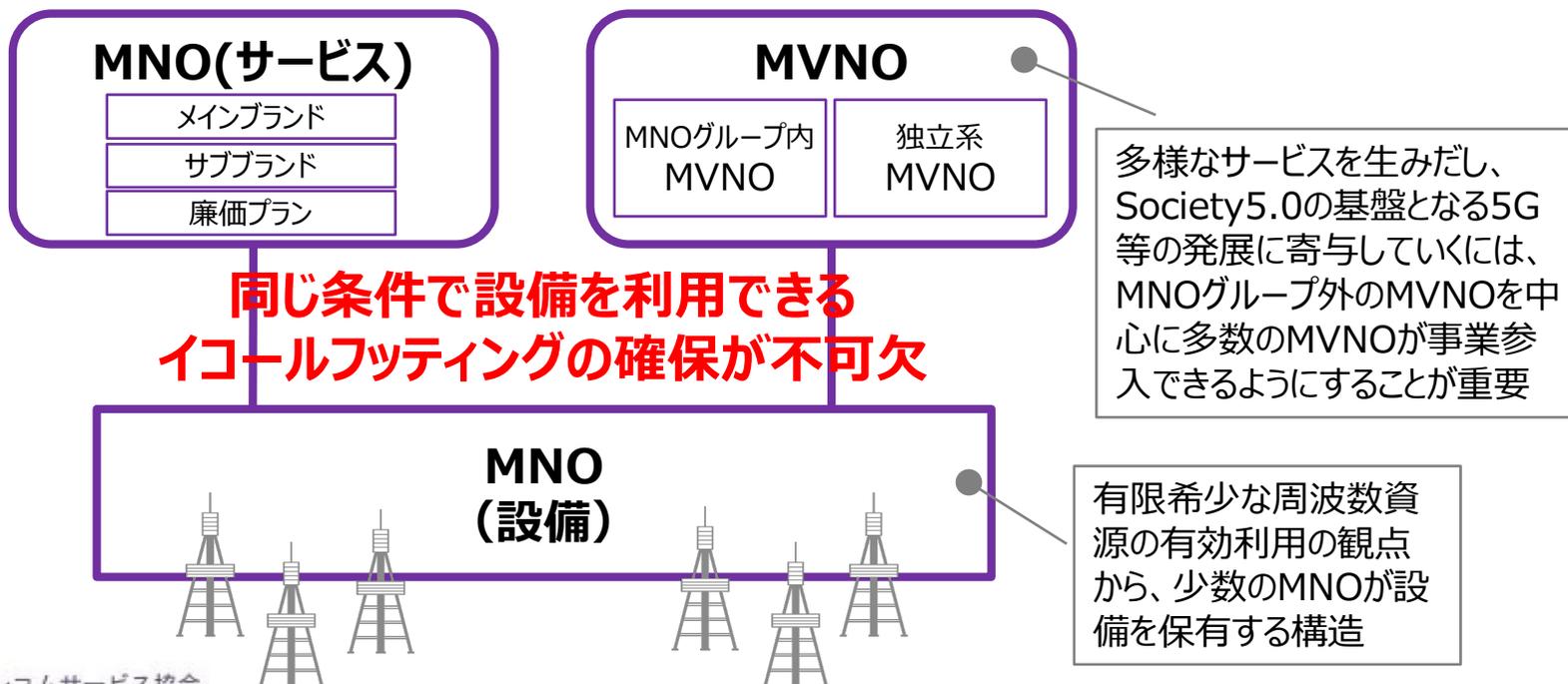


しむし

© 00 MVNO委員会

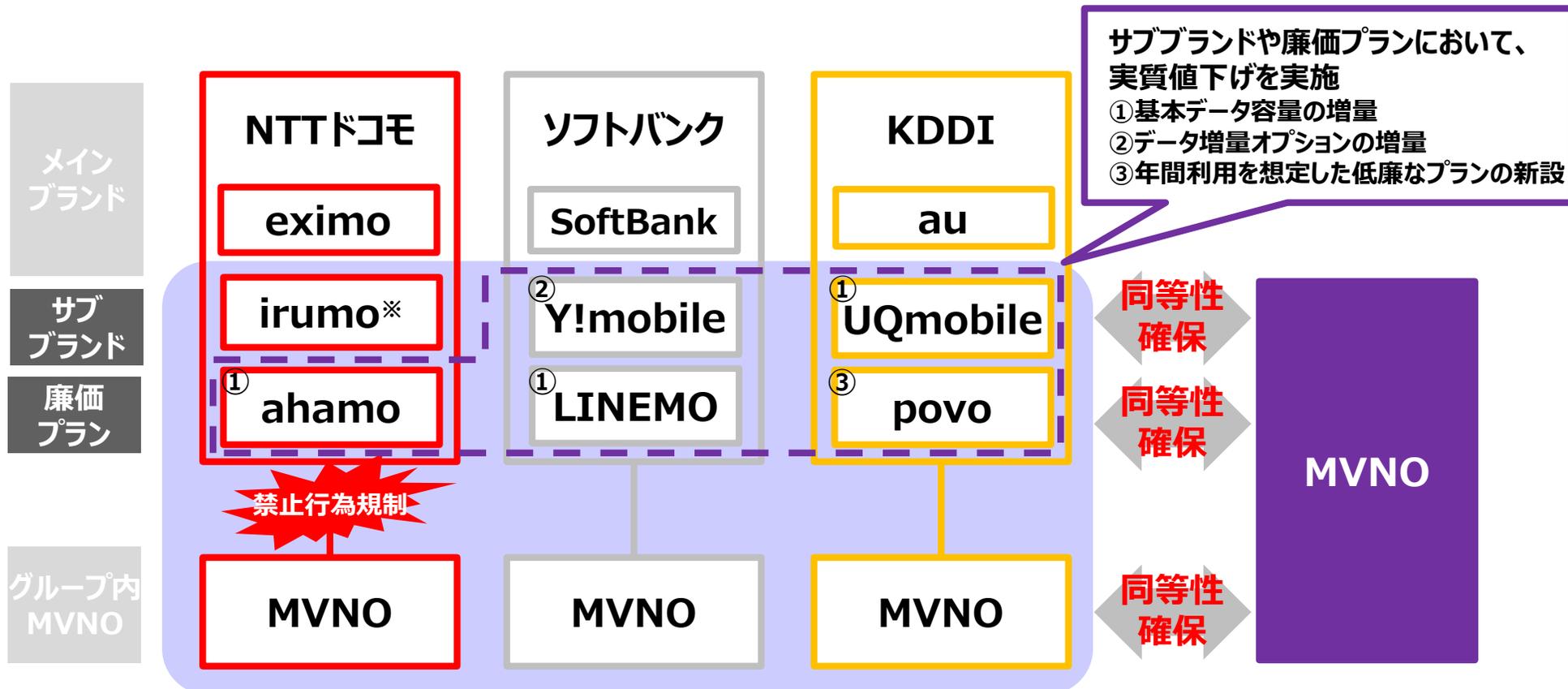
望まれる競争環境

- **MVNOは、従来のMNOによる寡占市場に楔を打ち込むとともに、移动通信市場の競争を活性化させることで、消費者の選択肢の多様化や利便性の向上に寄与してきた**
- 今後も、移动通信市場において多様なサービスが生みだされ、**Society5.0の基盤となる5GやBeyond5Gの発展**のためには、有限希少な周波数資源の有効利用の観点から、少数のMNOが設備を保有する構造が避けられない中、多数のMVNOが事業参加できるように、**「設備を保有するMNO」と「保有しないMVNO」が同じ条件で設備を利用することができるイコルフットイングの確保が必要不可欠**である
- また、MNOグループによる寡占を防ぐため、MNO本体のみならず**MNOグループ内MVNOと、独立系MVNO間のイコルフットイングも極めて重要**



至近のモバイル市場の競争状況

- 別会社であったサブブランドやグループ内MVNOを、MNO本体に吸収する動きが見られ、またMNO本体がMVNOと競合する低廉な新プランを投入するなど、市場競争はさらに熾烈に
- 至近では、MNO各社がサブブランドや廉価プランにおいて、データ容量の増量等の実質値下げを実施
- そのような市場環境の変化と市場競争の高まりを受け、MNOやグループ内MVNOと、独立系MVNOとの同等性（イコールフッティング）の確保は、これまで以上に重要となっている



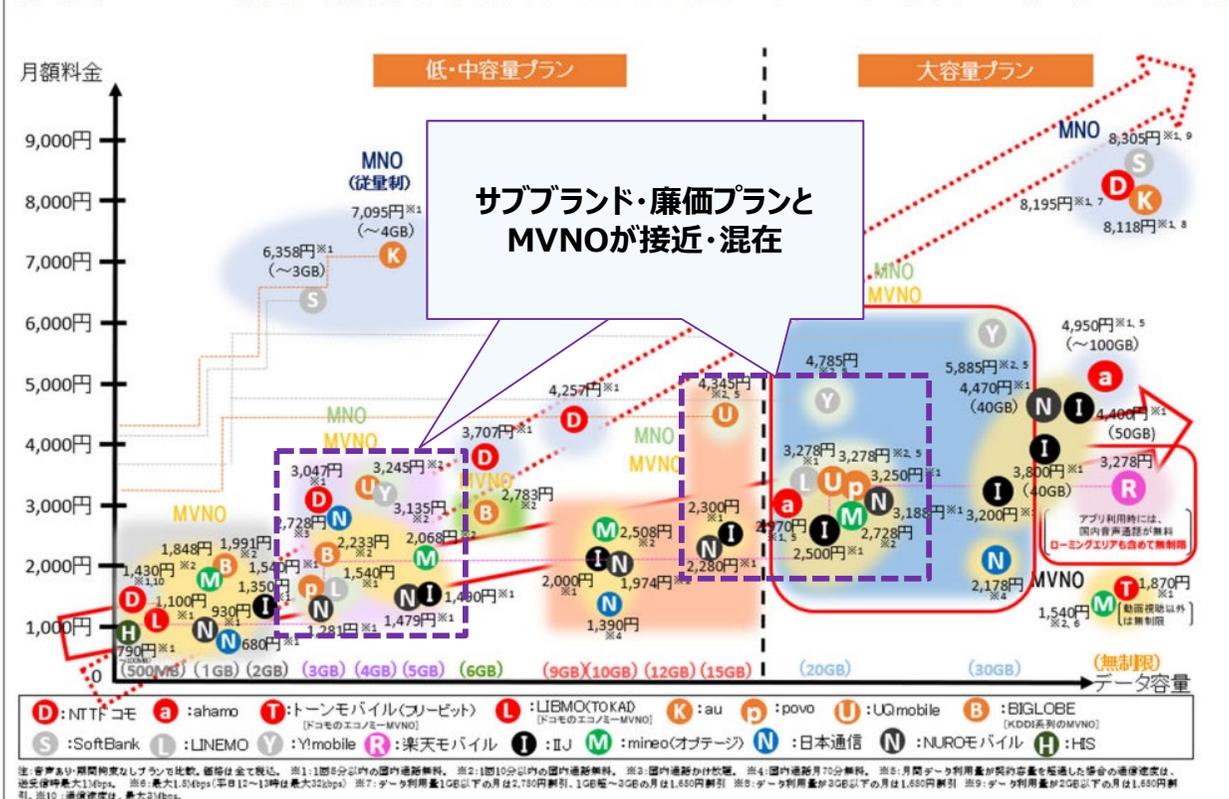
※「irumo」については、プラン内容や価格等から、サブブランド相当と定義

至近のモバイル市場の競争状況

- サブブランドでは、光回線やホームルーターとのセット契約、特定のクレジットカード払い等にする事で、月額料金の割引を実施
- 至近では、サブブランドや廉価プランの一部において、月額料金を据え置き、データ容量の増量を実施（実質値下げ）

⇒ **大容量・高額**の領域を除き、MNOとMVNOの料金水準が接近・混在する状況となっている

【図表Ⅱ－18 携帯電話事業者各社の主な料金プランの比較（2024年6月1日現在）】

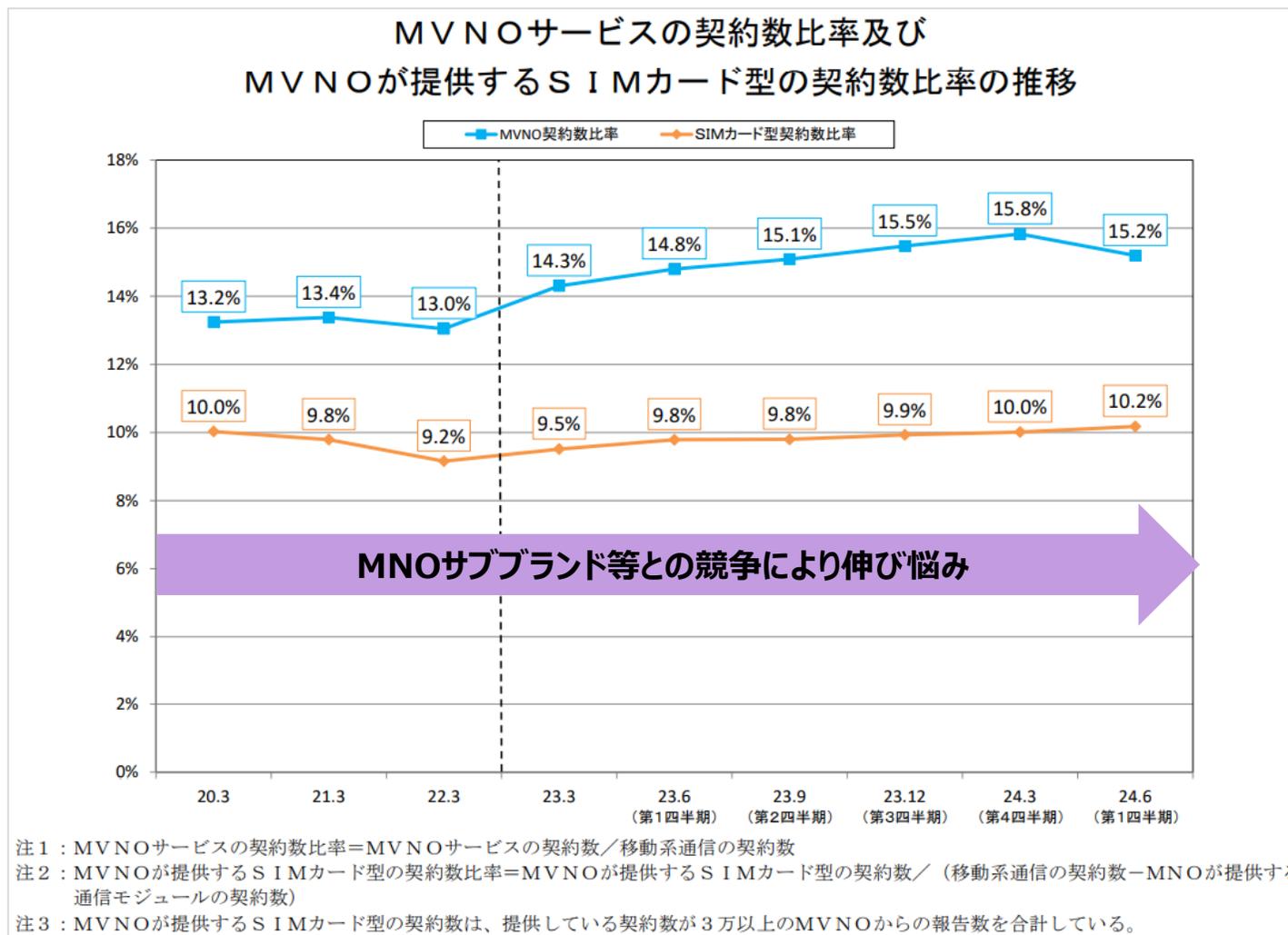


出典：各社HPを基に総務省作成

出典：総務省 競争ルールの検証に関する報告書2024（令和6年9月）より引用

MVNOの契約比率の推移

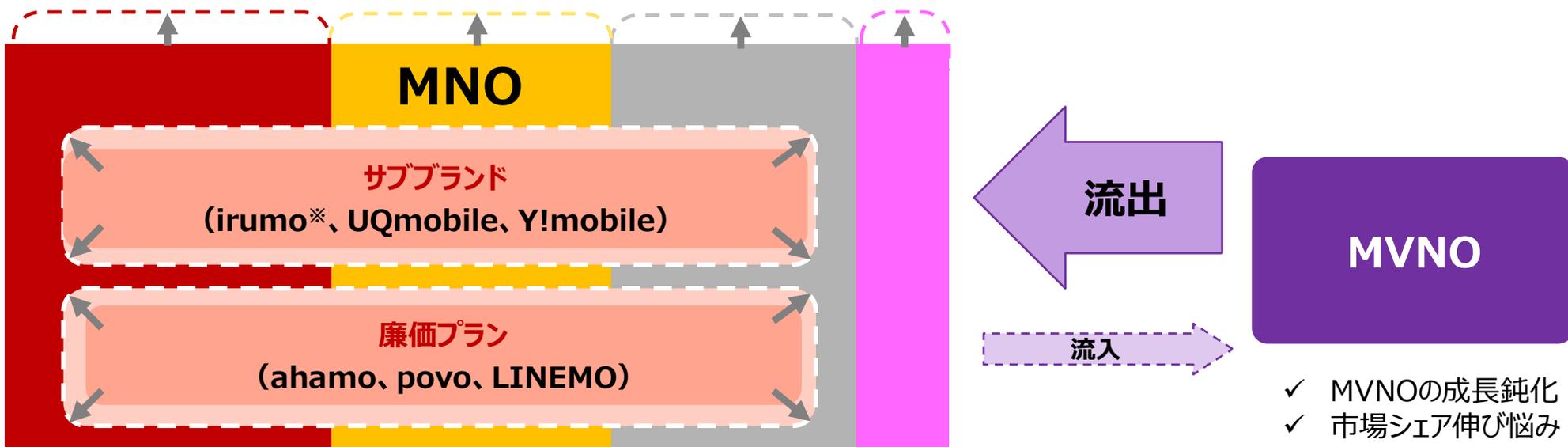
- 至近は、MNOのサブブランドや廉価プラン等の影響によりMVNO（SIMカード型）のシェアは伸び悩み



スタックテスト対象プランに対する当委員会の考え

- MNOサブブランドや廉価プランによりMNOとMVNOの料金水準が近接し、料金面と品質面のバランス等で優位なサブブランド・廉価プラン等への流出が増加することで、競争環境に影響が生じている状況
- MNOとMVNO間の公正競争の確保のためには、特にMVNOと競合関係にあるサブブランドや廉価プランについて、MVNOとの料金の近接状況や、MNO各社による至近の実質値下げに伴う利用者料金の低廉化等の状況変化を踏まえ、過去検証済みのプランも含めて、スタックテストの対象とすることを要望

●現状の市場イメージ



※「irumo」については、プラン内容や価格等から、サブブランド相当と定義

サブブランド・廉価プラン等とMVNO料金プランとの比較

- 低容量帯（3～5GB）・大容量帯（20～30GB）ともに、サブブランド・廉価プラン等とMVNOの料金プランの料金水準は近接している状況（固定通信とのセット割引および特定決済方法割引を考慮）
- 低容量帯に加え、MNO各社が実質値下げを実施している大容量帯においても近接度合いが高く、下回る場合も出てきている状況

<低容量帯の比較>（全プラン、国内通話定額は別オプションのため、月額料金のみで比較）

（いずれも音声機能付き、税込）

プラン	UQmobile 4GB ※7	Y!mobile 4GB ※7	irumo 3GB ※7	povo2.0 3GB ※7	LINEMO 3GB ※7	MVNO1 5GB	MVNO2 5GB	MVNO3 4GB
月額料金	¥2,365 割引適用時 ¥1,078 ※5	¥2,365 割引適用時 ¥1,078 ※5	¥2,167 割引適用時 ¥880 ※5	¥990 ※3	¥990	¥990	¥1,518	¥1,188
容量超過後最大速度	300kbps	300kbps	300kbps	128kbps	300kbps	300kbps	200kbps	200kbps
通信品質	メインブランドと同等					MVNOのMNOとの契約帯域に依存		

<大容量帯の比較>（ahamo、UQmobile30GBは無料の国内通話定額が含まれるため、国内通話定額を合算した月額料金にて比較）

（いずれも音声機能付き、税込）

プラン	UQmobile 30GB (33GB ※6)	Y!mobile 20GB +10GB増量	ahamo 30GB ※7	povo2.0 30GB	LINEMO 30GB	MVNO1 30GB	MVNO2 20GB	MVNO3 30GB
月額料金	¥3,278	¥4,015 + ¥550	¥2,970	¥2,200 ※4	¥2,970	¥2,700	¥2,178	¥2,508
国内通話定額	¥0 ※1	¥880 ※1	¥0 ※2	¥550 ※2	¥0 ※2	¥700 ※1	¥550 ※1	¥935 ※1
月額料金 +国内通話定額	¥3,278	¥5,445 割引適用時 ¥3,608 ※5	¥2,970	¥2,750	¥2,970	¥3,400	¥2,728	¥3,443
容量超過後最大速度	1Mbps	1Mbps	1Mbps	128kbps	1Mbps	300kbps	200kbps	200kbps
通信品質	メインブランドと同等					MVNOのMNOとの契約帯域に依存		

※1) 10分以内の国内通話は何度かけても定額

※2) 5分以内の国内通話は何度かけても定額

※3) 30日間有効の3GBトッピング料金

※4) 365日間有効の360GBトッピング料金を、1か月間あたりに換算

※5) モバイルサービスの月額料金に適用される固定セット割引額かつ

特定決済方法割引額を反映

※6) 終了時期未定の無料特典適用時

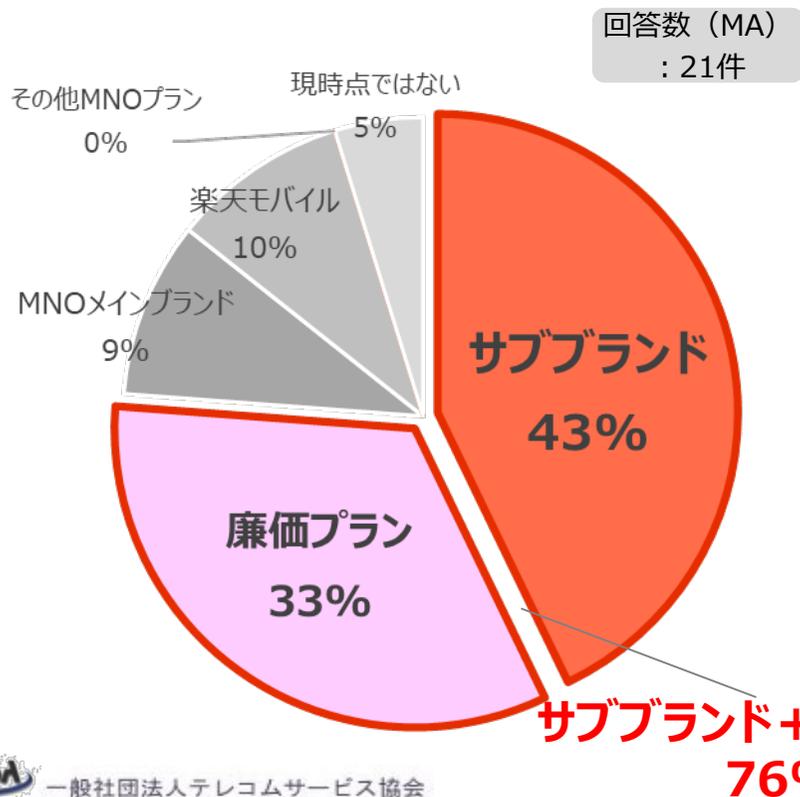
※7) 過去に検証したプラン（ahamoは当時20GB）

（各社プランの内容は2024年11月12日時点のもの、MVNO1～3は、IIJmio、mineo、イオンモバイル）

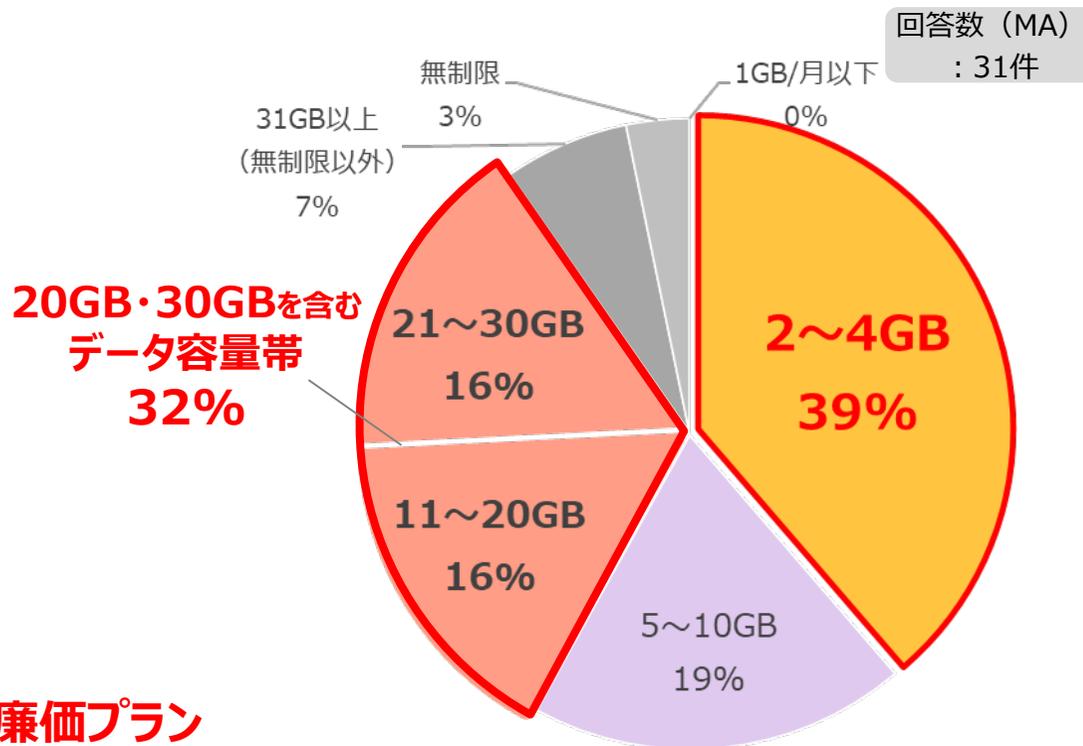
MVNO各社へのアンケート結果(競合するサービス・プラン、容量帯)

- 当委員会に加盟しているMVNOに対し、競合するサービス等についてアンケート (回答: 12社 期間: 2024/11/1~11/8)
- MVNO自社プランからの移行・転出が多い等の理由から競合となっている主なMNOのサービス・プランは、前回に続き、サブブランドと廉価プランが全体の75%以上を占める結果
- 競合する月当たりの容量帯は、2~4GB帯が39%、20GB・30GB帯が32%を占める結果

競合するMNOのサービス・ブランド



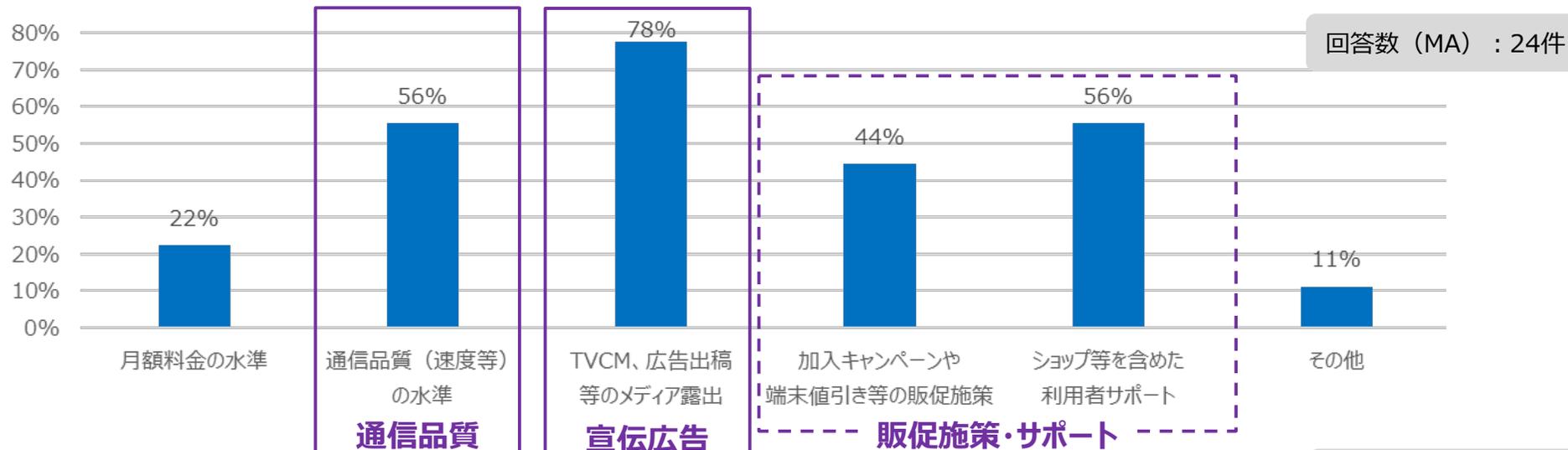
競合するサービス・ブランドの月当たりの容量帯



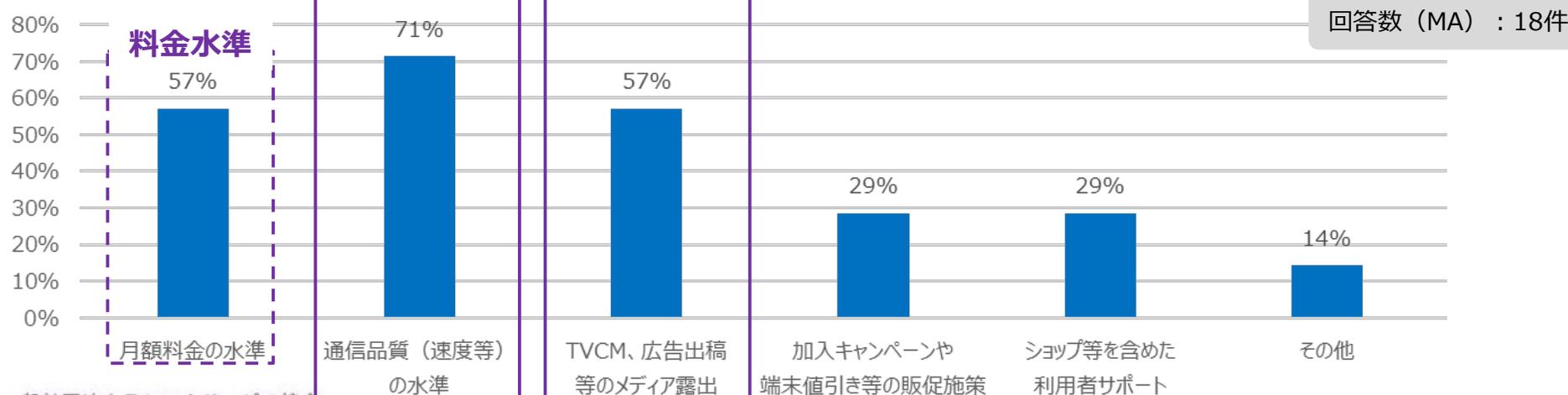
MVNO各社へのアンケート結果(同等のサービス提供が困難な理由)

- MVNOがサブブランドや廉価プランと同等のサービス水準で提供できないと考える主な理由については、前回に引き続き**通信品質と宣伝広告**を挙げる割合が特に大きい
- また、**サブブランドでは販促施策やサポート、廉価プランでは料金水準**を挙げる割合も大きい

サブブランド



廉価プラン



MVNO各社へのアンケート結果(スタックテスト実施に伴う要望等)

- その他、MVNO各社からの要望や意見は下記の通り（各社意見より抜粋）

	意見要旨
検証対象の選定	<ul style="list-style-type: none"> ✓ <u>MNO各社にて価格を据え置きつつ容量を拡大（20GBから30GB等）する実質値下げが行われていることを踏まえ、過去検証済みの大容量プランも再検討の俎上にあげていただきたい</u> ✓ <u>過去検証済みのプランについて、検証実施時に用いた数値が大きく変わる場合は、「環境の変化」があるものとして再検証を実施する基準の明確化を要望</u>
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ✓ <u>検証に用いる「営業費相当額」について、直近5年間の平均値ではなく直近1年間の値を用いることで、検証実施時の実態により即した形での検証が実施されることを要望</u> ✓ <u>データ接続料相当額や営業費相当額等について、メインブランドの数値が含まれることにより、過少となるおそれがあるため、対象プランごと数値にて算定を行う必要 ⇒ 次ページにて補足</u>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ <u>MNO各社により「お試し」を目的とした通信料金割引が行われるプランについては、定例の検証とは別に臨時の検証を行うなど早期に競争影響を確認していただきたい</u> ✓ <u>MNOサブブランドは、MVNOと遜色ない料金水準でありながら、宣伝広告やポイント還元等MVNOでは成しえない強力な販促施策を実施できるだけでなく、特に、通信品質がMNO並みといった点を踏まえると、MVNOに卸す通信品質の改善や卸価格のさらなる低廉化が実現できるのではないかと</u> ✓ 「特定決済方法割引」について、市場への影響を注視し適宜適切な議論が実施されることを期待する

(その他)営業費相当額の算出について

- 現状、スタックテストにおいては、営業費相当額の算出にあたってMNO各社はメインブランド含めた全ブランド共通の値が採用されている認識
- MNO各社からは、ブランド単位での費用把握の仕組みがないため算出が困難等の意見が示されている一方、全ブランド共通での算出では、営業費相当額が過少に算出されることに懸念がある状況
- この点、本検証の更なる適正性向上に向け、新規加入者数による按分等、より適当な算出方法について検討いただくことを要望

● 営業費相当額

◆ ガイドラインにおいては、営業費相当額について以下のとおり規定。

- 「移動通信分野における接続料等と利用者料金との関係の検証に関する指針」(抜粋)

<営業費相当額>

第二種指定電気通信設備接続会計規則に基づく移動電気通信役務収支表の営業収益に対する営業費* (社会貢献活動に係る営業費等指定事業者のサービス等(それに付随するものを含む。)の提供を直接目的としないものを除く。)の割合の直近5年間の平均値により算出する。

* 検証対象となったサービス等の提供に際して発生し得ない費用がある場合、当該費用については営業費から除く。

- ◆ 営業費相当額の算出にあたっては、検証対象サービス等の提供を直接目的としない費用(例:社会貢献活動に係る営業費等)を控除した上で、2018年度から2022年度までの営業費比率の平均を用いて営業費相当額の割合を算出。(なお、本年の検証対象サービス等は、いずれもオンライン限定プランではなく店頭で契約可能なプランであるため、店頭販売に係る営業費等の控除は行っていない。)

メインブランドの営業費用が
含まれることにより、過少となるおそれ

出典:総務省 接続料の算定に関する研究会(第83回)事務局資料より引用

一般社団法人テレコムサービス協会

MVNO委員会

MVNO事業に関する情報収集、調査・研究 等)

◆構成員 : 60社 (2024年9月12日現在)

運営分科会

- MVNO委員会の運営に関する事項の検討
- MVNOに関する課題の抽出、問題点の分析・整理
- 抽出された課題の解決方策案の検討
- MVNOに関する政策提言等の案の検討

消費者問題分科会

- 消費者問題全般についての情報共有
- 消費者問題に関する課題の抽出、問題点の分析・整理
- 抽出された課題の解決方策案の検討
- 消費者問題に関する政策提言等の案の検討

不払者情報交換 連絡部会

- 未払のある加入者の情報交換
- 不払者情報交換への加入 等

不適正利用防止 検討部会

- 特別利用停止者の情報交換 等

- (株) アーリンク
- (株) アイ・オー・データ機器
- (株) アクセル
- (株) 朝日ネット
- イオンリテール (株)
- (株) インターネットイニシアティブ
- (株) インテック
- H.I.S.Mobile (株)
- (株) STNet
- エックスモバイル (株)
- NTTコミュニケーションズ (株)
- (株) NTTドコモ
- (株) NTTPCコミュニケーションズ
- (株) 愛媛CATV
- MXモバイル (株)
- (株) オプテージ
- 兼松コミュニケーションズ (株)
- 近鉄ケーブルネットワーク (株)
- (株) コスモネット
- (株) コミュニティネットワークセンター
- (株) サジスタム
- GMOインターネットグループ (株)
- (株) シー・ティー・ワイ
- JCOM (株)
- (株) Jストリーム
- (株) 情報通信総合研究所
- スターネット (株)
- スマートモバイルコミュニケーションズ (株)
- (株) センターモバイル
- ソニーネットワークコミュニケーションズ (株)
- SORAシム (株)
- だれでもモバイル (株)
- TIS (株)
- (株) 地域ワイヤレスジャパン
- (株) ちゅピCOM
- DXHUB (株)
- (株) TOKAIコミュニケーションズ
- トランスコスモス (株)
- (株) ドリーム・トレイン・インターネット
- ニフティ (株)
- (一社) 日本ケーブルテレビ連盟
- 日本通信 (株)
- ニュー・アイティー・ヴェンチャー (株)
- (株) ハイホー
- (株) 日立システムズ
- ビッグロブ (株)
- 富士通 (株)
- 華為技術日本 (ファーウェイ・ジャパン)
- (株) フォーバルテレコム
- フリービット (株)
- 丸紅ネットワークソリューションズ (株)
- ミーク (株)
- (株) モバイルアーツ
- (株) U-NEXT
- LINEヤフー (株)
- 楽天モバイル (株)
- (株) ラネット
- (株) LinkLife
- (株) レキオス
- Y.U-mobile (株)